

第2期川崎市スポーツ推進計画成果指標 令和9年度目標値

第2期スポーツ推進計画 第1次実施計画 体系図

基本理念	川崎でスポーツを、スポーツで川崎を、もっと楽しく。	
基本目標	誰もがスポーツに参加し、スポーツの楽しさを味わうことができる「スポーツのまち・かわさき」の推進	
基本方針	1 誰もが気軽にスポーツに親しむことができるまち	
基本施策	(1) スポーツを「する」機会の充実 (2) スポーツを「みる」機会の創出 (3) 身近なスポーツ環境の充実 (4) スポーツ関係団体との連携・支援 (5) スポーツ関連情報の提供 (6) スポーツの安全確保	【基本方針1の成果指標】 ○ スポーツセンター等施設利用者数 ○ かわさき多摩川マラソンの参加者数 ○ かわさきスポーツパートナーによるホームゲーム市民招待の申込者数 ○ アメリカンフットボール公式戦への市民招待の申込数
基本方針	2 生涯にわたってスポーツを元気に楽しみ、自分らしく暮らせるまち	
基本施策	(1) 乳幼児の運動遊びの推進 (2) 子どものスポーツの推進と体力向上に向けた取組 (3) 成人のスポーツの推進と運動による健康づくり (4) 高齢者のスポーツの推進と運動による健康づくり (5) パラスポーツの推進	【基本方針2の成果指標】 ○ 体力テストの結果（全国体力・運動能力、運動習慣等調査） ○ 全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣人数 ○ 障害者の週1回以上のスポーツ実施率 ○ スポーツセンター等の障害者個人利用者数
基本方針	3 地域の多様なスポーツをささえあい、交流が深まるまち	
基本施策	(1) スポーツを「ささえる」人材の育成 (2) 総合型地域スポーツクラブの充実 (3) 地域の特性を踏まえたスポーツの推進 (4) 運動の習慣づけの促進	【基本方針3の成果指標】 ○ 総合型地域スポーツクラブの会員数 ○ スポーツ推進委員の定員における充足率 ○ かわさき多摩川マラソンにおける情報保障など、障害者対応ができるボランティアの数 ○ かわさき多摩川マラソンにおける一般ボランティアでボランティアリーダーを担える人材の数 ○ 川崎市障がい者スポーツ指導者協議会への指導者登録者数
基本方針	4 スポーツに挑戦する喜びがあるまち	
基本施策	(1) 次世代アスリートの強化・支援 (2) 指導力の向上 (3) 各種スポーツ大会の開催・参加	【基本方針4の成果指標】 ○ 個人型トップアスリート助成の実施件数 ○ 選手・指導者などのスポーツ人材と連携した事業の参加人数 ○ 市民大会等各種スポーツ大会の開催数 ○ 市障害者スポーツ大会競技参加者数
基本方針	5 スポーツを通して川崎の魅力・活力が感じられるまち	
基本施策	(1) ホームタウンスポーツの推進 (2) スポーツを通じた本市の魅力発信 (3) スポーツによる地域の活性化 (4) アメリカンフットボールを活かしたまちづくり	【基本方針5の成果指標】 ○ かわさきスポーツパートナー等によるふれあいスポーツ教室の実施数 ○ 川崎フロンターレによる小・中学校等での巡回サッカー教室の実施回数 ○ フラッグフットボールの巡回教室、交流大会の実施数

《実施計画期間の延長に伴う目標値の設定》

- 川崎市スポーツ推進計画策定時は第1次実施計画の計画期間を令和4～7年度の概ね4年間としていたため、最終年度である令和7年度の目標値を設定しておりました。
- 令和7年のスポーツ基本法改正を踏まえたスポーツ基本計画の改定が令和8年度に予定されていることから、その内容を適切に参酌するため、実施計画の期間を2年延長しました。
- 実施計画期間の延長に伴い、延長後の最終年度となる令和9年度の目標値を次のとおり新たに設定します。
- 目標値の設定にあたっては、総合計画第4期実施計画や関連する個別計画等に位置付けられた数値については、当該数値と整合を図ります。それ以外の目標値に関しては、原則として、未達成の成果指標は令和7年度目標値を採用することとし、達成済の成果指標は計画期間中における実績値の最高値を採用しますが、今後の増加が見込める成果指標は実績値等から推算した目標値を設定することとします。

第2期川崎市スポーツ推進計画成果指標 令和9年度目標値

基本目標

誰もがスポーツに参加し、スポーツの楽しさを味わうことができる「スポーツのまち・かわさき」の推進

指標名	策定時の 現状値	延長前の 令和7年度目標値	延長時の 現状値	延長後の 令和9年度目標値
週1回以上のスポーツ実施率	50.4% (令和2年度)	54.0%	44.7% (令和7年度)	47.6%
年1回以上のスポーツ直接観戦率	23.4% (令和2年度)	35.0%	31.4% (令和7年度)	33.5%
スポーツを支える活動に年1回以上参加した人の割合	6.1% (令和2年度)	10.0%	7.4% (令和7年度)	8.2%

第2期川崎市スポーツ推進計画成果指標 令和9年度目標値

基本方針1

誰もが気軽にスポーツに親しむことができるまち

指標名	策定時の 現状値	延長前の 令和7年度目標値	延長時の 現状値	延長後の 令和9年度目標値
スポーツセンター等施設利用者数	123.9万人 (令和2年度)	276.0万人	273.7万人 (令和6年度)	282.0万人
かわさき多摩川マラソンの参加者数	6,671人 (平成30年度)	6,671人	7,057人 (令和7年度)	7,057人
かわさきスポーツパートナーによるホームゲーム 市民招待の申込者数	4,281人 (平成29年度～ 令和2年度の平均)	5,000人 (令和4年度～ 7年度の平均)	30,058人(令和5年度) 41,615人(令和6年度)	30,058人
アメリカンフットボール公式戦への市民招待の申込数	125件 (令和2年度)	450件	839件 (令和7年度)	1,018件

※「かわさきスポーツパートナーによるホームゲーム市民招待の申込者数」は、申込手法の改善により計画期間中に数値が大幅に上がったため、延長時の現状値及び延長後の令和9年度目標値は単年度における実績値とする。また、市制100周年記念試合の市民招待を実施した令和6年度（41,615人）を除いた平年における計画期間中の実績値の最高値として、令和5年度の30,058人を延長後の目標値として設定する。

第2期川崎市スポーツ推進計画成果指標 令和9年度目標値

基本方針2

生涯にわたってスポーツを元気に楽しみ、自分らしく暮らせるまち

指標名		策定時の 現状値	延長前の 令和7年度目標値	延長時の 現状値	延長後の 令和9年度目標値
体力テストの結果 (全国体力・運動能力、運動習慣等調査) <small>※「策定時の現状値」及び「延長前の令和7年度目標値」は、神奈川県の前年度平均値を100とした際の本市の割合</small> <small>※「延長時の現状値」及び「延長後の令和9年度目標値」は、政令指定都市の前年度平均値を100とした際の本市の割合</small>	小5男	100.0 (令和元年度)	102.0	98.8 (令和7年度)	100.0
	小5女	100.0 (令和元年度)	102.0	97.6 (令和7年度)	100.0
	中2男	94.6 (令和元年度)	100.0	96.3 (令和7年度)	100.0
	中2女	96.5 (令和元年度)	100.0	95.7 (令和7年度)	100.0
全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣人数		134人 (令和元年度)	150人	161人 (令和7年度)	161人 (令和8年度)
障害者の週1回以上のスポーツ実施率		32.0% (令和元年度)	36.0%	40.3% (令和4年度)	—
スポーツセンター等の障害者個人利用者数		10,266人 (令和2年度)	23,000人	25,705人 (令和6年度)	31,000人

※「全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣人数」は、令和9年度大会が開催されないため、令和8年度大会を対象とする。

※「障害者の週1回以上のスポーツ実施率」は、参照するアンケート調査が令和8・9年度に実施されないため、延長後の令和9年度目標値を設定しない。

※「スポーツセンター等の障害者個人利用者数」の延長時の現状値は、総合計画第3期実施計画「スポーツセンター等管理運営事業」の事務事業評価シートの同実績値に団体利用者数を含めておりましたので、個人利用者数だけに修正した数値となっております。

第2期川崎市スポーツ推進計画成果指標 令和9年度目標値

基本方針3

地域の多様なスポーツをささえあい、交流が深まるまち

指標名	策定時の 現状値	延長前の 令和7年度目標値	延長時の 現状値	延長後の 令和9年度目標値
総合型地域スポーツクラブの会員数	3,945人 (令和2年度)	5,500人	6,118人 (令和6年度)	7,000人
スポーツ推進委員の定員における充足率	87.8% (令和2年度)	95.0%	89.1% (令和6年度)	92.0%
かわさき多摩川マラソンにおける情報保障など、 障害者対応ができるボランティアの数	0人 (平成30年度)	10人	16人 (令和7年度)	17人
かわさき多摩川マラソンにおける一般ボランティアで ボランティアリーダーを担える人材の数	7人 (平成30年度)	11人	12人 (令和7年度)	12人
川崎市障がい者指導者協議会への指導者登録者数	193人 (令和2年度)	242人	222人 (令和6年度)	242人

第2期川崎市スポーツ推進計画成果指標 令和9年度目標値

基本方針4

スポーツに挑戦する喜びがあるまち

指標名	策定時の 現状値	延長前の 令和7年度目標値	延長時の 現状値	延長後の 令和9年度目標値
個人型トップアスリート助成の実施件数	5件 (令和2年度)	10件	10件 (令和7年度)	—
選手・指導者などのスポーツ人材と連携した事業の参加人数	506人 (令和2年度)	3,800人	6,507人 (令和6年度)	6,700人
市民大会等各種スポーツ大会の開催数	22回 (令和2年度)	56回	61回 (令和6年度)	61回
市障害者スポーツ大会競技参加者数	422人 (平成31年度)	447人	381人 (令和7年度)	447人

※「個人型トップアスリート助成の実施件数」は、制度の見直しを検討中のため、目標値を設定しない。

第2期川崎市スポーツ推進計画成果指標 令和9年度目標値

基本方針5

スポーツを通して川崎の魅力・活力が感じられるまち

指標名	策定時の 現状値	延長前の 令和7年度目標値	延長時の 現状値	延長後の 令和9年度目標値
かわさきスポーツパートナー等による ふれあいスポーツ教室の実施数	35回 (令和2年度)	34回	28回 (令和6年度)	34回
川崎フロンターレによる小・中学校等での 巡回サッカー教室の実施数	88回 (令和2年度)	120回	102回 (令和6年度)	120回
フラッグフットボールの巡回教室、交流大会の実施回数	118回 (令和2年度)	150回	209回 (令和6年度)	209回

※「フラッグフットボールの巡回教室、交流大会の実施回数」は、市内小学校（115校）における各1回の巡回教室と、交流大会1回の開催を目標値とする。